

## 検証保育・検証授業2 勢理客貴之教諭（南城市立大里南小学校）

去る1月22日(木)に、大里南小学校で行われた、後期教育研究員の勢理客貴之教諭による小学校体育の検証授業では、小学校中学年の「走・跳の運動」で、基本的な動きづくりの工夫とステージ型の学習過程を取り入れ、グループでの活動を意識した授業において、児童に学習の見通しを持たせ、教師が前向きな評価をあたえることで、児童が自ら積極的に活動していました。

指導講師の與儀毅氏(東風平小学校教頭)からは、本検証授業における今回の基本的な動きづくりの工夫は、二極化の進む児童の運動の状況下で、普段あまり運動しない児童にとっても有効な活動であり、運動が苦手だと思われる児童も積極的に活動していたことから、生涯スポーツの素地づくりとしても有効な授業であったと指導助言がありました。

検証授業研究会の中では、学習指導要領の学年毎の段階を踏まえた指導が必要であること、指導案の書き方に検討が必要であること等が課題として挙げられました。これらの課題を踏まえ、検証のまとめ等を行います。

## 【研究テーマ】

運動に親しむ資質や能力の基礎を育む学習指導の工夫  
—基本的な動きづくりとステージ型の学習過程を取り入れた走・跳の運動を通して—

## 【研究仮説】

走・跳の運動において、基本的な動きづくりとステージ型の学習過程と運動の特性にふれる次のような工夫をすることによって、運動に親しむ資質や能力の基礎が育つだろう。

- (1) 基本的な動きづくりの場を設定し、ふわっと体が浮き上がるような感覚づくり運動を体験させるよう工夫する。
- (2) ステージ型の学習過程の場を設定し、幅跳びの楽しさである競争と記録達成を味わわせるよう工夫する。



写真1 検証授業の様子



写真2 授業後の評価記録



写真3 検証授業研究会の様子

検証授業を終えて(勢理客貴之)

どの児童にも楽しく運動をさせるために「基本的な動きづくり」の場を工夫し、楽しく、かつ、幅跳びの動きにつなげる活動に取り組みさせることができました。「競争」「記録達成」の場においても、他者を意識して幅跳び競争を楽しんだり、記録を伸ばすためにフォーム改善練習をしたりと意欲的に活動させることができました。場を設定し、目標を持たせることで、こんなにも目を輝かせて幅跳び学習を行う姿に感動しました。体を動かすことの楽しさを感じさせることができましたと思います。

指導案では「文字を大事にすること」「自分の思いを文字にすることの難しさ」を痛感しました。指導要領を読み込み、いろんな本を読み解決に向け努力します。最後に、ご指導下さった指導講師の與儀毅教頭先生、指導助言を下された上原勝晴所長、羽根田主任指導主事、義仁指導主事、嶺井指導主事、協力してくださった大里南小学校の職員の皆さん、応援してくれた研究員の皆さんありがとうございました。